

V仮面焼き(ビクトリー仮面キャラクターたい焼き) ～制作秘話～

● V仮面焼きはなぜ作られたの？

V-stationのマスコットキャラクター

「ビクトリー仮面（V仮面）」のキャラクターグッズを
大学の技術力を活かして開発して、
学園祭や地域イベントに定期的に参加しながら

大阪公立大学の**地域貢献活動**をPRするためぶい！

（大阪府立大学：2015年制作当時）



●制作過程

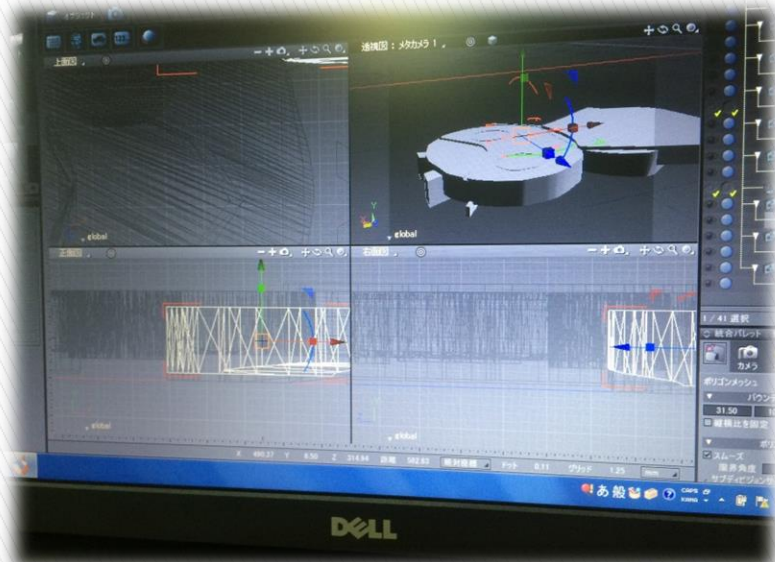
たい焼き器の制作にあたっては

工学部 生産技術センター さんに

協力していただいたぶい！

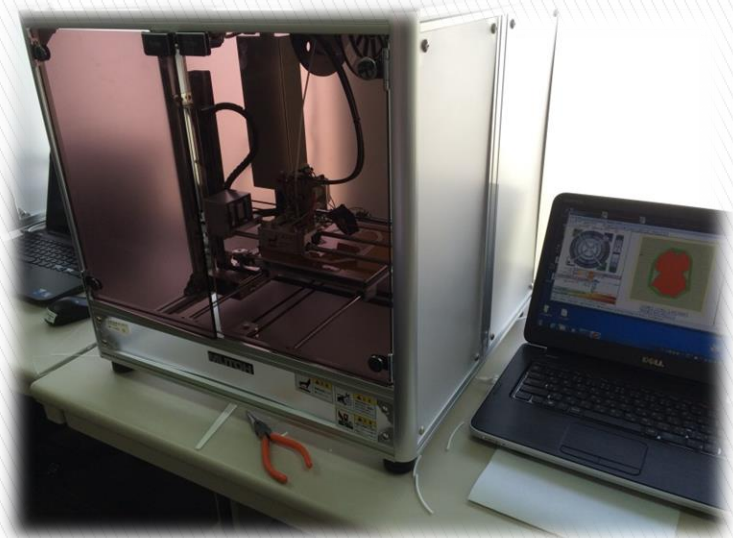
V-stationの学生スタッフもお手伝いしたぶい！

① 3Dモデリング



イラストを3D化したぶい！

② 3Dプリンター



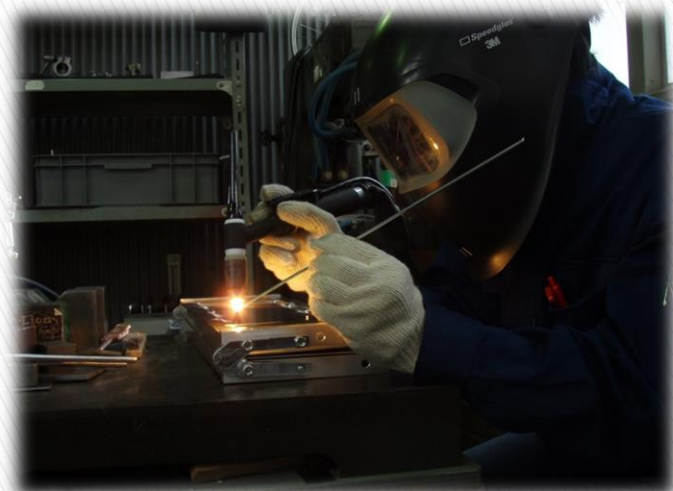
作った3Dデータを出力したぶい！

③ 鑄造・切削



前面は鑄造、後面は
切削加工を行ったぶい！

④ 溶接



鑄造と切削で出来た
パーツをフレームに
溶接したぶい！

⑤完成！

約3ヶ月半の制作期間を経て
V仮面焼きの金型が
完成したぶい！



株式会社コーテック さんに
金型のテフロン加工をしてもらったぶい！

和田厨房道具(千日前道具屋筋) さんに
コンロや調理器具を手配してもらったぶい！

幸せの黄金鯛焼き白鷺駅前店 さんに
焼き方や店舗運営のアドバイスをもらったぶい！

これから…

V 仮面焼きを
地域イベントやお祭りで
たくさんの人に
お届けしていくぶい！
そうして、
みんなにいっぱい
大阪公立大学のことを
知ってもらいたいぶい！



教えて!!

V仮面の おすすめボランティア活動!

お客さんが商品を買った分だけ寄付につながる
「チャリティー店舗」

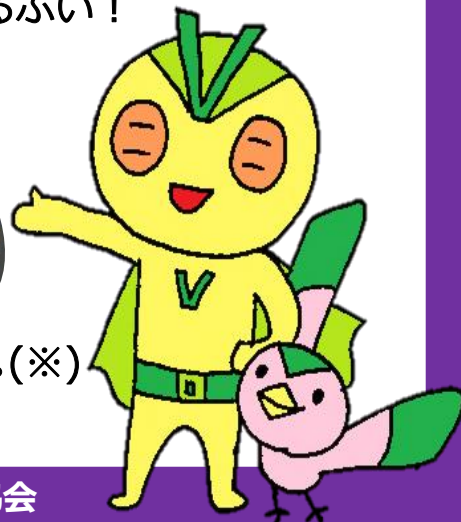
収益を社会事業や救済運動に寄付する目的で行われるチャリティー事業が世の中にはたくさんある。大阪公立大学では、多くの人が来場する学園祭を通じて社会に貢献するための寄付キャンペーン「CHARITY for...」が実施されている。V-stationは、チャリティー活動に身近に取り組むきっかけとして模擬店出店団体に「チャリティー店舗」協力の呼びかけをしていて、参加店舗は、売上の一部を寄付金にあてるんだ。これまで被災地支援、犯罪被害者支援、難病患者支援など寄付先を選定してきて、2011年からの寄付金総額は約50万円にもなる。



ちなみに、V仮面のかたちをしたキャラクターたい焼きをイベント販売しているんだけど、これは寄付つき商品で、累計で6700個を売り上げ13万円以上を寄付してきた。



ボランティア活動は「時間の寄付」とも言われ、その性質が『自らが誰かのために行う行為』なのだとすると、お金や物を贈る寄付は『誰かを信じて託す行為』だと表現できるんだ。(※)



V仮面焼き 芋餡(いもあん) ～製作秘話～

大阪公立大学の地域貢献活動をPRするために
金型から制作したV仮面焼き、
その可能性をさらに広げるため、
学内連携・地域連携企画として
新味の商品開発に取り組んだぶい！

大阪公立大学ボランティア・市民活動センター

V-station



大学産の紅芋

- ▶ 農学部附属教育研究フィールド(農場)で栽培された紅芋を使用しているぶい！
この時期にしか採れない秋の味覚ぶい！



地域店舗で加工

- ▶ 紅芋の加工は、中百舌鳥駅近くにある和菓子の老舗「ひさご屋」さんに協力してもらったぶい！
V-stationの学生スタッフも作業をお手伝いしたぶい！



完成！！

- ▶ こうして「学産 × 地産」商品として芋餡が完成したぶい！
秋だけの限定販売、ぜひ食べてみてほしいぶい！

